

様式第6号（第13条関係）

平成29年3月22日

愛媛県知事 中村 時広 様

住所 松山市大可賀2丁目1番28号愛媛国際貿易センターE201号室  
団体名 愛媛インテリアコーディネーター協会  
代表者職氏名 会長 川上幸生

平成28年度住民提案型商店街支援事業実績報告書

平28年7月14日付けで契約を締結した住民提案型商店街支援事業について、委託契約書第13条第1項の規定に基づき、実績報告書を下記のとおり提出します。

記

- 1 委託料 金 300.000 円
- 2 事業実績書（別紙1のとおり）
- 3 収支決算書（別紙2のとおり）

(別紙 1)

事業実績書

実施団体名	愛媛インテリアコーディネーター協会
代表者・構成	愛媛インテリアコーディネーター協会 会長 川上幸生 内子町地域おこし協力隊 渡邊 真弓 内子まちづくり商店街協同組合 代表理事 大西啓介
事業名	「内子町 neki-和紙とあそぶ、和紙と暮らす ワークショップ 開催事業」
実施場所	愛媛県喜多郡内子町内子 1932 尾崎糸店（空き店舗）内和紙販 売スペース「neki-和紙とあそぶ、和紙と暮らす」
事業の目的	<p><b>【地域課題（地域の現状、抱える問題等）、地域住民の要望】</b> 内子町は観光の町であり、県内外から多くの方が来られます。しかしその中心はやはり伝建地区に集中しており、地元商店街に滞在される方は少ない現状です。また、商店街には空き家が多くなってきており、地域住民の皆様は欲しいものが手に入りにくい状況になっています。地域住民の皆様、商店街の皆様の願いである地域活性化として、空き店舗の再活用等による商店街機能の復活が望まれています。</p> <p><b>【事業実施目的、事業実施の必要性】</b> 内子町では地域おこし協力隊の皆様が活動しており、事業実施主体となる愛媛インテリアコーディネーター協会には、地域おこし協力隊の渡邊真弓氏も所属しています。 商店街組合及び地域おこし協力隊の方が自前で整備を進めている、空き店舗を利用した情報発信店舗「neki」を活用し、私たちが得意とするワークショップを開催することで、商店街の魅力を多くの方に知っていただき、県内外からの移住者の促進を図っていく一助といたします。本事業は、ワークショップによる商店街の集客を手段として、移住定住者を見つけ、店舗運営の移住者を見つけ出す事業として捉えています。 ホームページでの告知に加え、FACEBOOK やインスタグラムなどの SNS を運営側でなく参加者側が発信していただくことで、多くの方へ情報伝達を図っていきます。</p>
事業の内容	渡邊氏と地元商店街の皆様が尾崎糸店（空き店舗）内に整備している、情報発信及び和紙販売スペース「neki-和紙とあそぶ、和紙と暮らす」を利用し、平成28年8月から毎月1回ワークショップを開催しました。

ワークショップの内容としては、内子町の名産・特産を活用した雑貨や木工などの手工芸の生産者の方、並びに県内で活躍している講師の方を招き、地元商店街で販売されているものを利用し、アレンジを加えた雑貨作り等を開催しました。

魅力あるワークショップが安く受けられること、影響力の強いクチコミやSNS等の幅広い広報により多数の方に参加いただき、開催前後や空いた時間には、商店街の散策を促し、内子商店街を知っていただく機会を作りました。また、移住に興味がある人に対して空き家や空き店舗の情報提供を行いました。

7月29日（金） ワークショップ用ホームページ開設  
内子 de アソボ (<http://www.uchiko-workshop.net>)

7月29日（金） 松山市内にて本事業の取り組み並びに各自の役割分担ワークショップ内容の検討を実施

8月3日（水） 内子町役場、内子商工会、内子まちづくり商店街協同組合、ビジターセンター各所と協議を実施、協力を要請

8月7日（日） 第1回ワークショップ開催

創作パステル、カルトナージュ、フェイクスイーツワークショップ 60名

講師 佐野理恵子氏、高橋多重美氏、三木麻里氏

9月10日（土）内子商店街へ協力を依頼

9月12日（月）松山市内にて第2回打ち合わせ

9月18日（日）第2回ワークショップ開催

ご祝儀袋作りワークショップ 14名

講師 高橋多重美氏、三木麻里氏

海南タイムズ 9月25日号 10月5日号に記事掲載

10月9日（日）第3回ワークショップ開催

水引ワークショップ 15名

講師 伊予水引金封協同組合 美結会

内子町広報誌10月号にてWS紹介

	<p>1 1月20日（日）第4回ワークショップ開催  ギルディングワークショップ 15名  講師 株式会社五十崎社中 齋藤宏之氏</p> <p>1 2月4日（日）第5回ワークショップ開催  筆文字年賀状ワークショップ 21名  講師 筆文字屋 白晃氏</p> <p>1 月8日（日）第6回ワークショップ開催  ペン立てワークショップ  講師 高橋多重美氏 ※当日店主の体調不良により中止</p> <p>2 月12日（日）第7回ワークショップ開催  水引ワークショップ 24名  講師 伊予水引金封協同組合 美結会  西瀬戸ケーブルテレビ取材</p> <p>3 月19日（日）第8回ワークショップ開催  季節の折り紙ワークショップ 25名  講師 岡野千鶴氏</p>
<p>事業効果</p>	<p>伝建地区に足を運ぶ人は多かったが、商店街の存在を知らない人が多く、今回のワークショップを通じて商店街を認知していただくとともに、商店街が抱えている問題点を知ってもらうことができました。当初は地元商店街の方のワークショップへの参加はありませんでしたが、会を重ねるごとに商店街の方も参加いただけるようになり、ワークショップ参加者、商店街の住民、地元行政、ワークショップの講師の交流が生まれました。具体的な移住定住者を出すことは叶いませんでしたが、ワークショップの仕組み自体は来期も継続していける見込みが立ち今後が楽しみです。</p>
<p>委託期間終了後の事業計画</p>	<p>ワークショップを開催した和紙販売スペース「neki-和紙とあそぶ、和紙と暮らす」は、商店街への人の流れを作るために5月を目処に伝建地区近くに移転し、店舗として床面積の増床を予定しています。旧尾崎糸店の店舗部分であった所は、ワークショップスペースとしてこちらも収容人数を増やすために増床して運営を継続する予定です。</p>

